

# ビタミンBook



号



8号

発行: 笠田高等学校図書館



夏休みを前にして、連日の猛暑で、もうすぐバテそうです。

まだまだこれからが、夏本番。体調管理に気をつけて、始業式には元気に登校して下さい。



「怖い本ない〜?」の声から

☆『夜葬』最東対地(著)

☆☆『夜市』恒川光太郎(著)

が怖いかも…。

～夏休み中の図書館開館日～

☆開館時間: 9:00～12:00

★開館日: □のついている日

2018 7 July

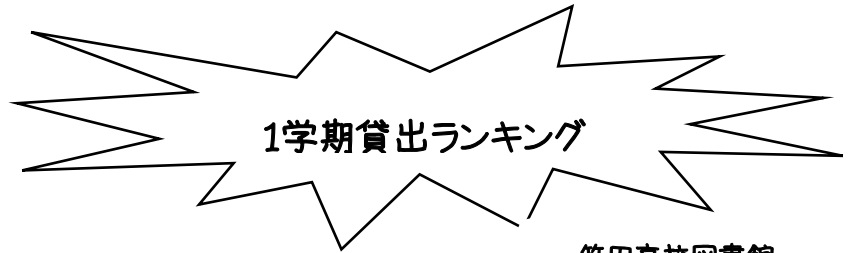


| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|
| 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |
| 29 | 30 | 31 |    |    |    |    |

2018 8 August



| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|
|    |    |    | 1  | 2  | 3  | 4  |
| 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 |
| 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
| 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |



～笠田高校図書館～

第1位 『青くて痛くて脆い』住野よる(著)

第2位 『か「」く「」し「」ご「」と「」』 住野よる(著)

第3位 『ふたご』 藤崎彩織(著)

第4位 『また、同じ夢をみていた』住野よる(著)

第5位 『君を、何度でも愛そう。』沙絢(著)

第6位 『おちゃめに100歳! 寂聴さん』 瀬尾まなほ(著)

第7位 『チュベローズで待ってる Age32』加藤シゲアキ(著)

第8位 『チュベローズで待ってる Age22』加藤シゲアキ(著)

第9位 『112 日間のママ』清水健(著)

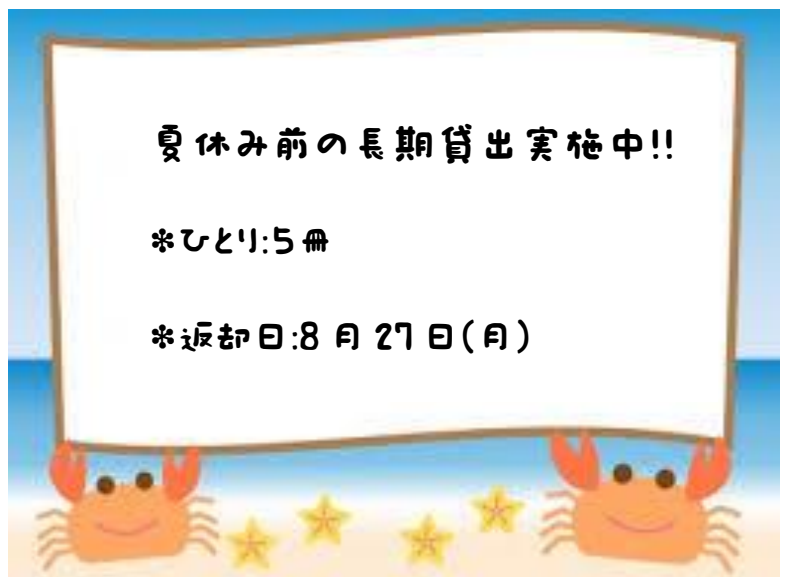
第10位 『よるのげけもの』住野よる(著)

「住野よる」の著書が人気です。

夏休み前の長期貸出実施中!!

\*ひとり: 5冊

\*返却日: 8月27日(月)



## 新しく入った本の紹介



|    | 書名               | 著者名         | 出版社      | 分類番号 |
|----|------------------|-------------|----------|------|
| 1  | 本日は大安なり          | 辻村深月        | KADOKAWA | 913  |
| 2  | 君は月夜に光り輝く        | 佐野徹夜        | KADOKAWA | 913  |
| 3  | ギケイキ             | 町田康         | 河出書房新社   | 913  |
| 4  | 未来のミライ           | 細田守         | KADOKAWA | 913  |
| 5  | ふちなしかがみ          | 辻村深月        | KADOKAWA | 913  |
| 6  | 世界でいちばん長い写真      | 菅田哲也        | 光文社      | 913  |
| 7  | セント・メリーのリボン      | 稲見一良        | 光文社      | 913  |
| 8  | 気持ちをあらわす基礎日本語辞典  | 森田良行        | KADOKAWA | 813  |
| 9  | モンテ＝クリスト伯①～⑦(文庫) | アレクサンドル・デュマ | 岩波書店     | 953  |
| 10 | 5分後に恋するラスト       | イブリスタ(編)    | 河出書房新社   | 913  |
| 11 | 5分後に笑えるどんでん返し    | イブリスタ(編)    | 河出書房新社   | 913  |
| 12 | ガラスの封筒と海と        | アレックス・シアラー  | 求龍堂      | 933  |
| 13 | 彼方の友へ            | 伊吹有喜        | 実業之日本社   | 913  |
| 14 | チンギス記1～2         | 北方謙三        | 集英社      | 913  |
| 15 | 百貨店の展覧会          | 志賀健二郎       | 筑摩書房     | 673  |
| 16 | 青春のジョーカー         | 奥田亜希子       | 集英社      | 913  |
| 17 | 真夜中乙女戦争          | F           | KADOKAWA | 913  |
| 18 | 魂の秘境から           | 石牟礼道子       | 朝日新聞社出版  | 914  |
| 19 | ぬるい生活            | 群ようこ        | 朝日新聞社出版  | 914  |
| 20 | 時給三〇〇円の死神        | 藤まる         | 双葉社      | 913  |



## マエオカテツヤの和歌山 妖怪大図鑑

マエオカテツヤ(著)

(山の妖怪)天狗

深山に棲む日本で最も有名な妖怪のひとつ。

(中略)

和歌山各地には天狗にまつわる話が数多く傳承されている。和歌山城が築かれるはるかな昔から伏虎山に棲んでいた天狗と和歌山城主・徳川頼宣公とのどちらが真の城主かを言い争う話も残っていて、結局、殿様には勝てず、城の見回りをまかされたという。

殿様も天狗に勝負で勝ったとなれば、さぞ鼻が高かったことだろう。 (本文より抜粋)

【093】



## スイカのタネはなぜ散らばっているのか

～タネたちのすごい戦略～

稲垣栄洋(著)/西本眞理子(絵)



植物は動くことができないが、移動して分布を広げるチャンスが二回だけある。

一回目は「花粉」である。(中略)

二回目の移動は「種子」である。種子は植物にとっては子孫そのものである。種子が遠くに移動すれば、自らの子孫たちが、分布を広げて、繁栄していくことになる。そのため、種子もまた、さまざまな工夫に満ちているのである。

(まえがきより抜粋)

【471】



